

聖霊降臨後第 24 主日特禱 (特定 27)

全能の神よ、何ものもあなたの支配に逆らうことはできません。どうかこの世の変動の中においても、常にみ国の到来とみ心の成就を望み、確かな信仰をもってひたすら主に仕えさせてください。主イエス・キリストによってお願いいたします。 **アーメン**

旧約聖書 列王記上 17 章 8-16 節

また主の言葉がエリヤに臨んだ。「立ってシドンのサレプタに行き、そこに住め。わたしは一人のやもめに命じて、そこであなたを養わせる。」彼は立ってサレプタに行った。町の入り口まで来ると、一人のやもめが薪を拾っていた。エリヤはやもめに声をかけ、「器に少々水を持って来て、わたしに飲ませてください」と言った。彼女が取りに行こうとすると、エリヤは声をかけ、「パンも一切れ、手に持って来てください」と言った。彼女は答えた。「あなたの神、主は生きておられます。わたしには焼いたパンなどありません。ただ壺の中に一握りの小麦粉と、瓶の中にわずかな油があるだけです。わたしは二本の薪を拾って帰り、わたしとわたしの息子の食べ物を作るところです。わたしたちは、それを食べてしまえば、あとは死ぬのを待つばかりです。」エリヤは言った。「恐れてはならない。帰って、あなたの言ったとおりにしなさい。だが、まずそれでわたしのために小さいパン菓子を作って、わたしに持って来なさい。その後あなたとあなたの息子のために作りなさい。なぜならイスラエルの神、主はこう言われる。主が地の面に雨を降らせる日まで、壺の粉は尽きることなく、瓶の油はなくなる。」やもめは行って、エリヤの言葉どおりにした。こうして彼女もエリヤも、彼女の家の者も、幾日も食べ物に事欠かなかった。主がエリヤによって告げられた御言葉のとおり、壺の粉は尽きることなく、瓶の油もなくならなかった。

詩 編 第 146 編

- 1 ハレルヤ // わたしの魂よ、主をたたえよ
- 2 命ある限り主をたたえ // わたしは生ける限り主をほめ歌う
- 3 この世の支配者たちに頼ってはならない // 救う力がない人の子に頼ってはならない
- 4 人は息絶えて土に帰り // その日、すべての企てはむなしくなる
- 5 ヤコブの神を助けとし // 主に希望をかける人は幸せ
- 6 神は天と地を造り、海とその中のあらゆるものを形造り // とこしえにまことを示された
- 7 虐げられた人のために審きを行い // 飢え渴く人にパンを恵み、捕らわれ人を解放さ

れる

- 8 主は見えない人の目を開き // 卑しめられている人を高め、正しい人を愛される
- 9 主は他国から来ている人を守り // 身寄りのない子供とやもめを支え、悪人の企てを砕かれる
- 10 主はどこしえに治められる // シオンの神は世々に、ハレルヤ

使徒書 ヘブライ人への手紙 9章 24-28 節

なぜならキリストは、まことのものの写しにすぎない、人間の手で造られた聖所ではなく、天そのものに入り、今やわたしたちのために神の御前に現れてくださったからです。また、キリストがそうなされたのは、大祭司が年ごとに自分のものでない血を携えて聖所に入るように、度々御自身をお献げになるためではありません。もしそうだとすれば、天地創造の時から度々苦しまねばならなかったはずですが。ところが実際は、世の終わりにただ一度、御自身をいけにえとして献げて罪を取り去るために、現れてくださいました。

また、人間にはただ一度死ぬことと、その後に裁きを受けることが定まっているように、キリストも、多くの人を罪を負うためにただ一度身を献げられた後、二度目には、罪を負うためではなく、御自分を待望している人たちに、救いをもたらすために現れてくださるのです。

福音書 マルコによる福音書 12章 38-44 節

イエスは教えの中でこう言われた。「律法学者に気をつけなさい。彼らは、長い衣をまとって歩き回ることや、広場で挨拶されること、会堂では上席、宴会では上座に座ることを望み、また、やもめの家を食物にし、見せかけの長い祈りをする。このような者たちは、人一倍厳しい裁きを受けることになる。」イエスは賽銭箱の向かいに座って、群衆がそれに金を入れる様子を見ておられた。大勢の金持ちがたくさん入れていた。ところが、一人の貧しいやもめが来て、レプトン銅貨二枚、すなわち一クアドランスを入れた。イエスは、弟子たちを呼び寄せて言われた。「はっきり言うておく。この貧しいやもめは、賽銭箱に入れている人の中で、だれよりもたくさん入れた。皆は有り余る中から入れたが、この人は、乏しい中から自分の持っている物をすべて、生活費を全部入れたからである。」